

発行人 / 学園町自治会会长・荻野晶子
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名純
投稿・連絡先 / 学園町1丁目14番地31号
電話 / 090-6005-7887



毎月の第1・第3・第5月曜日は
学園町自治会の資源物回収の日。
自治会の収益となりますので、
ぜひご協力ください。

学園町らしさを生かした オンラインの町づくりを!

荻野晶子・新自治会長インタビュー

今年5月の学園町自治会総会で、荻野晶子氏が自治会長に選出されました。来年誕生100年を迎える学園町は、今さまざまな課題を抱えています。相続などによる急ピッチな宅地開発が進む一方で、子育て世代など新たな住民が増えています。緑豊かな環境と、しなやかなコミュニティを維持し、育っていくにはどうすればいいか。荻野新会長にお聞きしました。

——荻野家は4代にわたって学園町に住んでいるとのことです、まずは学園町との関わりをお教えください。

荻野 曾祖父が購入したのが始まりです。曾祖父は当初2区画500坪を買つもりだったのですが、結局4区画1000坪を購入しました。娘、つまり私の祖母が自由学園に入つたので、この土地を購入したというわけです。詳しく述べると、曾祖父の父、私のひいひい爺さんは安川敬一郎と言いました。徳川時代の福岡藩の武士で、



明治時代以降は日本の実業家・政治家として名を成しました。明治初期に福岡で結成された政治団体「玄洋社」に加わり、経済面で活動を支えました。筑豊御三家の一つ安川財閥の創始者で、安川電機や九州製鋼（のちに八幡製鐵に買収）、九州鉄道（現JR九州）などを設立したのをはじめ、明治専門学校（現九州工業大学）を設立しました。その敬一郎が孫を自由学園に入れ、息子（私の曾祖父）に4区画買うようにアドバイスしたというわけです。

——それで、祖母の

山口さんから数えて、荻野さんご夫婦のご子息まで4代が、この町に住んでいるのですね。それでは、自由学園との繋がりはどうだったのでしょうか。

荻野 帰国してこの町に戻つてからのことをお聞かせください。

——今、学園町は大きな課題を抱えています。相続や住民の高齢化で、これまでの一戸建ての土地が細分化されるなど緑豊かな環境を維持するのが難しくなっています。一方で、新たに入居してくれる若い世代もいます。そこには外国人の方も含まれます。防災も避けて通れません。今年5月、会長に就任しましたが、その現状をどう捉えているか、そして、その対応はどうあつたらいいのかといった点についてお聞かせください。（次ページに続く）

荻野 両親も自由学園の卒業生なので、学校は自由学園しかないという雰囲気で、

私も妹も自由学園に幼稚園（幼稚園に相当）から入りました。いとこは11人いますが、9人が自由学園を卒業しています。

私は、高校（女子部高等科）1年生の一学期に、父がニューヨーク転勤になつたことからアメリカのハイスクールに転校しました。アメリカの大学3年時に結婚しました。夫（弘次さん）も自由学園出身です。

——その頃の学園町はどんな町でしたか。

荻野 幼児生活団と初等部の同級生が、この町にたくさんいました。皆友達で、人の家の庭でも平気で気にせず走り回っていました。道なんか通らないで人の家の庭先を通つて友達の家にいつて遊んでいました。祖父母も親類も友達も同じ町内にいました。自由学園友の会が中心になつて音楽会をやつっていましたし、自由学園で作ったパンの中継所があつて住民がそこに取りに行きました。食材は、駅前の「長谷川商店」が届けてくれるし、すべてがこの町の中で完結していました。

た

——今、学園町は大きな課題を抱えています。相続や住民の高齢化で、これまでの一戸建ての土地が細分化されるなど緑豊かな環境を維持するのが難しくなっています。一方で、新たに入居してくれる若い世代もいます。そこには外国人の方も含まれます。防災も避けて通れません。今年5月、会長に就任しましたが、その現状をどう捉えているか、そして、その対応はどうあつたらいいのかといった点についてお聞かせください。（次ページに続く）

荻野 前々会長の矢野さんから誘われました。学園町憲章ができた2008年頃。ただ、その当時は自治会の活動に対し、それほど意識を持っていたわけではありませんでした。

そして、2015年に地方創生の委託業務で島根県の雲南市に1年間、私自身が赴任したことが転機になりました。そこで、地方の町が崩壊していくのを目の当たりにしました。住民が住み慣れた町から出て行き、残つた住民は高齢化する。林業従事者がいなくなり、植林した木を伐採することができない。田舎なのにまず自然が壊されていくのです。里山の手入れができなくなり、山は荒れ放題。クマが里に出てくるようになり、畑の作物はイノシシやサルにやられてしまう。人も自然も経済も循環しなくなる。それを見て帰つてきたら、もう一度自治会に戻つて活動したいと思うようになりました。東京の都心に近い学園町にはクマは出ないでしようが、地方と似たような悪循環が起きるのでないかと感じました

町ではなくなつてはいるなどという点が課題にありますね。学園町は日本に4つしかない学園都市です。自由学園の創始者が、有機的な町を作りたい、日本のどこにもないような町を作りたいという思いでやつてきたのに、100年経つてどこにでもある町になつていいのかなという思いです。

池袋駅から急行で二駅という交通の便がいい所にあるのに、武藏野のよさが残つてゐる。

しかも環境や立地というハード的なものだけでなく、コミュニケーションというソフト面でも素晴らしいものをもつてゐる町です。この町のよさを残し、次の世代に繋げていかなくてはなりません。メディアも含めてこの町のよさを発信していくこともとても重要ですね。複数のデベロッパーや不動産仲介業者を介して、最終的に土地が売られ、家が建ついくわけですが、それぞれのフェイズで、施策を立てていかなければなりません。そして、それを住民のみなさんが共有できることが大切であります。ですからホームページを作るとか、環境保護のための協定を締結するといった活動が必要になります。

外国の方や子育て世代の家族も新しく入居している中で、多様性を生かした町づくりも重要な課題です。極端なことを言うと、アメリカでは地域住民に対し行政

がやつてくれることは、ゴミと学校だけです。つまり、学校を作ってくれてゴミも処理してくれるけど、それ以上のことは何もやつてくれない。そこで、住民の皆さんのが不便を感じていることについて、「一緒にやって組織立つて解決していい町にしていこうよ」という発想で対処していくということを、私は経験しました。住んでいる皆さんと一緒にやっていい町にしていきたいですね。

——会長に就任して2か月が経ちましたが、率直な感想と抱負をお聞かせください。

荻野 正直言つて激動の2か月でした。毎日のようにたくさん電話もかかります。個人情報保護の面から詳しくは述べられませんが、古くから住んでいた方が認知症になり、周辺の住民が困っているといったことから、土地の売買、新築に関して、デベロッパーや仲介業者と話し合いをしたり、とにかく忙しい日々でした。これまで自治会はそれほど問題もなく平穏にきたという感じでしたが、ここへきて諸問題が一気に噴き出したといったところでしようか。住んでいる650世帯の方々の要望や課題に対し、一つひとつ丁寧に接して前に進んでいくしかない。正解のないであろう問題に対して、その時その時のベストだと思われる解決策を模索していく2年間になるだろうと思っています。そして、皆が住みやすいと感じるオン

多彩な花や種、苗を持ち寄つて
「みどりのサークル」が「種と苗の交換会」



一緒にやりましょう。手伝つてくれる方、大歓迎です。

ください。そして、ぜひ町づくりと一緒にやりましょう。手伝ってくれる方、大歓迎です。

が「種と苗の交換会」

る活動を展開しています。それと同時に、「種と苗の交換会」も実施するようになります。

7月14日10時から昼まで行われた交換会には、近隣の住民が入れ替わり訪れました。代表の中村元子さんは、「自治会に入会していない住民の人から『かわら版を見たのですが、お手伝いをしたい』と電話がかかってきて、お隣の方と二人で手伝いにきてくれました。こういう交流こそ私たちが望んでいたものです」と話します。

ト、サマー・ポインセチア、スズラン、ホタルブクロ、コダカラソウ（マザーリーフ）、ミツバ、青ジソ、ゼラニウム、セダム、ガザニア、ハコネウツギ、アマリリスなどなど。このほかにも庭で取れ過ぎたので、皆さんにおすそ分けしたいと言つて持つてきたタチアオイの種やデイルの種など数えきれないほどの種類が集まりました。

そういえば、こんないい話がありました。最後に来た人は西東京市の人で、先月の「種と苗の交換会」開催中にたまたま通りかかつたので、今回も来てみたというのです。学園町在住の人が「ユズの木が庭にある。これが近所の庭にも進出してしまい困っている。邪魔だから切らなければいけないと思つている」と話したら、その西東京の人が、「そのユズをぜひ譲つてほしい」というのです。なんでもユズを材料にして作品を作

すが、お手伝いをしたい』と電話がかかってきて、お隣の方と二人で手伝いにきてくれました。こういう交流こそ私たちが望んでいたものです」と話します。

また、町内の「雲雀園芸」さんが「みどりのサークル」の趣旨と活動に賛同してくれ、お役に立てればと、商用で使わなくなつた植物を格安あるいは無料で提供してくれました。大きい鉢は八重の枝垂れ桜、ツルバラ、ジユーンベリー、スモークツリーなど。花系はアジサイの十二単、アナベル、ヤマアゲハ

学園町の住民有志による「みどりのサーカル」が、7月14日（日）に自由学園しののめ茶寮の前庭で「種と苗の交換会」を開きました。6月9日（日）に続いて2回目。住民の皆さんが高い気持ちで寄った花や草などを交換し合いました。草花の交換も素敵でしたが、それ以上に素晴らしいのは、初対面の人達同士で『話に花が咲いた』ことかもしれません。

すが、お手伝いをしたい』と電話がかかるってきて、お隣の方と二人で手伝いにきてくれました。こういう交流こそ私たちが望んでいたのです」と話します。

また、町内の「雲雀園芸」さんが「みどりのサークル」の趣旨と活動に賛同してくれ、お役に立てればと、商用で使わなくなつた植物を格安あるいは無料で提供してくれました。大きい鉢は八重の枝垂れました。

れ桜、ツルバラ、ジューンベリー、スマートツリーなど。花系はアジサイの十二単、アナベル、ヤママジサイ、ゼラニウムなど、観葉系はアンスリュウム、スペティニア

フイラムなどです。
近隣の人たちが持ち寄ったものも列挙してみます。ベルガモッ

ト、サマー・ポインセチア、スズラン、ホタルブクロ、コダカラソウ(マザーリー)、ミツバ、青ジソ、ゼラニウム、セダム、ガザニア、アマリリスなどなど。このほかにも庭で取れ過ぎたので、皆さんにおすそ分けしたいと言つて持つてきたタチアオイの種やデイリの種など数えきれないほどの種類が集まりました。

そういうえば、こんないい話がありました。最後に来た人は西東京市の人で、先月の「種と苗の交換会」開催中にたまたま通りかかったので、今回も来てみたというのです。学園町在住の人が「ユズの木が庭にある。これが近所の庭にも進出してしまって困っている。邪魔だから切らなければいけないと思つている」と話したら、その西東京の人が、「そのユズをぜひ譲つてほしい」というのです。なんでもユズを材料にして作品を作るサークルに属しているとか。枝だけではなく、植え直すので根っこから欲しいというわけです。伐採されてしまつたかもしれない木が再生するかもしれないということよつといい話でした。



今年6月、「DOCOMOMO Japan」(ドコモモ)による「日本におけるモダン・ムーブメントの建築290選」に、自由学園南沢キャンパスと南沢学園町が選定されました。

ドコモモは、モダン・ムーブメント(近代運動)の推進に寄与した建築の歴史的、文化的重要性を訴え、その記録と現存建物の保存に関する活動を開催する国際的学術組織。1989年にオランダで設立され、現在本部をポルトガルのリスボンに置き、80を超える国・地域が参加しています。日本支部のDOCOMOMO Japanは、2000年に発足、重要な活動の一つが日本におけるモダン・ムーブメントの建築の代表的作品を選定することで、これまでに280件をリストアップしてきました。一般社団法人「日本建築学会」の協力を得て実施しています。

自由学園では、2019年度に、門や初等部の食堂・教室、(旧)女子部の食堂・教室・回廊・体育馆・講堂、(旧)男子部の教室・体育馆が選定されています。これらの建物もアメリカの高名な建築家フランク・ロイド・ライトの弟子の遠藤新により設計・建築されたもので、学園創立者羽仁もと子・吉一夫妻が遠藤新と同じ教会に通つていた縁で設計したということです。また、東京都豊島区の自由学園明日館は、2003年に選定建築として登録されており、これは創立者の教育理念に共感したフランク・ロイド・ライトと遠藤新の二人により設計・建築されました。

今回、新たに選定されたのは、自由学園キャンパス内が羽仁両先生記念図書館、自由学園児生生活団で、キャンパスの外の住宅が遠藤新による田中富士雄邸、小宮一郎邸、遠藤新的長男の遠

南沢学園町が「モダン・ムーブメントの建築」に選定 エリア全体として高い評価

藤樂による芹沢邸、弟の遠藤陶による羽仁峰生邸です。

今回の選定で特筆されるのは、個人の住宅が一軒選ばれたではなく、いくつかの個人住宅が

いわば「群」として選ばれたということです。これまでの選定の歴史ではなかつたことです。「モダン・ムーブメントの建築」選定は、1999年に始まり、まず同潤会アパートや東京の小菅刑務所などが選ばれました。同潤会アパートは、大正から昭和にかけて東京、横浜の各地に建てられた鉄筋コンクリートの集合住宅として知られています。

ところで、個人の住宅としては2003年に森鷗外の長男・森於菟の住宅が選定されたのをはじめ、建築家の自邸などが選定された例がありますが、今回のように一つのエリアで複数の個人住宅が選定されたのは例がありませんでした。近代都市史・近代建築史の研究者でDOCOMOMO Japan事務局長の玄田悠大さんは、「自由学園のキャンパスにある遠藤新的建物は、すでに選定されていましたが、学園町にも遠藤新やその息子の遠藤樂、遠藤陶の手がけた住宅が多くあり、自由学園のキャンパス内だけではなく、地域研究やまちづくりに取り組んでいます。定員は15名でしたが、申込みが殺到し多くの方をお断りしました」と述べています。

ガイドは玄田悠大さん。前述したように近代都市史・近代建築史の研究者で、田園都市や新教育などグローバルな視点を切り口に、地域研究やまちづくりに取り組んでいます。定員は15名でしたが、申込みが殺到し多くの方をお断りしました。

フランク・ロイド・ライトを訪ねて 学園町散策ツアーオープン



まませんでした。何よりも同じ地域に一人の建築家が類似するような住宅を建てるという事例 자체が珍しいといえましょう」と説明します。選定にあたって、DOCOMOMO Japanと日本建築学会は、「その高い文化的意義と

歴史的意義についてご確認いただきます。この言葉を重く受け止め、選定を機に私たち住民も学園町の環境やコミュニティに思いを巡らせたいものです。

学園町を舞台に実施されました。ガイドは玄田悠大さん。前述したように近代都市史・近代建築史の研究者で、田園都市や新教育などグローバルな視点を切り口に、地域研究やまちづくりに取り組んでいます。定員は15名でしたが、申込みが殺到し多くの方をお断りしました。

「一つひとつ建物について知ることはもちろん重要ですが、学園都市として造成された学園町が緑の環境やコミュニティを大切にして来年で100周年を迎えること。そして、散策の途中には住宅を取り壊した後の空地もありますが、環境を維持するためにはどう取り組みを今後していくべき、現存の建物およびその周辺環境の保全、維持に格段の配慮を賜りますようお願い申し上げます」と述べています。

当日は午後2時ごろひばりヶ丘駅を出発、フランク・ロイド・ライトの弟子達が手がけた建物群をじっくり拝見しました。遠藤新ら

話してくれました」と玄田さんは



今年は例年に増して猛暑続きで、お盆休み前は市場の花の量もぐつと少なくなりました。庭や道の雑草は旺盛に伸びていくのに……。ということでこの季節は野の花系な草花がおすすめです。市場でも野の花系の花がよくでてきます。

これらの花は摘むとすぐに水が下がりますが、きちんと水揚げをするとすぐに元気になり、意外とよくもちます。

花束やアレンジといふと華やか

花だより⑦

猛暑が続きます オススメは野の花系



立川まり

な切り花で改まったイメージを思い描くかもしれません、夏には秋色の花、春には枝物、と季節に合わせてイメージを変えるのも楽しいかもしれません。なにより季節感がありますし、季節の花の方がもちろん良いですから。

それでもお盆のお花は草花とはいかないでわりと決まった感じの生花になります。和花(菊)やリンドウ、カーネーションなどが、花もちが割と良いのでおススメです。

二金会コンサート

夏休みに多いバレエ等の発表会の花束が年々、花でなくそのまま残せるバルーンのブーケに変わつてきたりしています。気候と共に、通常が少しずつ変化していくのかなあと思うこの頃です。

(フローラルライフ)立川まり

042-423-8646

時間) 時間) 13時30分 11月6日(水)開場 時間) 開演 14時 (16時までの2 時間) 開演 13時30分 11月6日(水)開場

かわら版(6月10日発行)で、クリスマスコンサートの記事を掲載しましたが、変更がありますので、正しい内容をお伝えします。お間違いないよう、よろしくお願いします。

おしゃせ

《南部地域センター》

※各イベント問合わせは南部地域センター(指定管理者(株)セイウン)TEL042-451-2021
Mail Higashikurume_nambu@sseiun.co.jp

★【ヨガ教室関係4件】
①「シニアヨーガ」
・8月16日(金)・8月23日(金)
9月13日(金)・9月27日(金)
1部10:00～11:00
2部11:30～12:30
・会場:2階和室1・2
・対象:65歳以上。男性も大歓迎
・定員:各回6名 初心者限定
・参加費:700円(当日払い)
・持ち物:ヨガマット・水分補給、動きやすい服装・厚手のバスタオル、汗拭きタオル
・講師:ヨガインストラクターAZUSA
②「美ヨーガ」
楽しくアンチエイジング!
・8月25日(日)・9月8日(日)
9月22日(日)
1部10:00～2部11:30～
・1階集会室・定員:各回10名
・参加費・持ち物・講師については、上記①と同じ
③「ヨガ the 男塾!」

頑張っているお父さんのデスクワーカーの悩み「首・肩こり・腰痛」を解消しよう!
・8月30日(金)・9月6日(金)
9月13日(金)・9月20日(金)
10月4日(金)
19:00～20:00 2階講習室1
・定員:15名
・参加費:700円(当日払い)
・持ち物等、動きやすい服装・水分補給前にかけられる長さのタオル
・講師:ヨガインストラクター中村陽子
④「女性のためのヨガ」
・9月1日(日)・9月15日(日)
10月6日(日)13:30～14:30
・1階集会室
・参加費・持ち物・講師については、上記③と同じ

★【ヨガ教室以外のイベント】
①今井浩之ひとり人形芝居
「それゆけ! ももたろう」「おさるのおしり」
大人も子どもも、みんな集まれ。お楽しみのはじまり、はじまり～!

・8月24日(土)1回目:10:30～、
2回目:13:30～
・会場:講習室
・入場料:大人500円、小学生300円、未就学児無料
(大人・小学生各1名につき未就学児2名まで入場可能。未就学児だけの入場は不可)
(窓口販売・電話予約不可)
②「バクさんとうたおう!」
・8月25日(日)・9月29日(日)
開場13:15 開演13:30～15:30、講習室
・定員60名・参加費500円
・持ち物 筆記用具
③「なんぶおしゃべりサロン」
・9月1日(日)・10月6日(日)13:30～15:30 音楽室
・参加費100円・定員10名
自由に話し合い、他の人の話を聞きましょう!ザックバランなおしゃべりで心のコリをほぐしましょう!どなたでもご自由に参加下さい。

★【その他催し】
※まあぶるミニバザー
就労系障がい者施設まあぶるのバザー。地域の方々より寄付いただいた品々、掘り出し物がきっとみつかるよ!
・8月27日(火)13:30～15:00
・南部地域センターピロティ
・バザー商品・衣類・装飾品・食器・本・雑貨等
・問合せ:(社福)すぎのこまあぶるTel 042-473-5896

《自由学園》

※イベントの問い合わせ先は自由学園広報室TEL042-428-2123e-mail:kh@jyu.ac.jp
URL:https://www.jyu.ac.jp
詳細・お申込みは自由学園のHPからお願いします。

会場 しののめ茶寮1階のカフェ 会費 3000円(ワンドリンク付き)
ゲスト3名
古賀久士さん(ピアノ弾き語り)
カウンター(テナード)
今井美樹さん(二胡)
藤枝貴子さん(アルパハープ)
問い合わせ・申し込みは学園町2丁目の宮崎一江さん(電話042-422-7748携帯090-4052-9771)まで。
★開催までにまだ時間がありますので、10月号で詳細をお知らせします。

■自由学園最高学部
第7回リベルアルアーツ学会
日時:9月7日(土)14:00～16:20
会場:最高学部棟3階中教室
お申し込み、詳細は学園HPからお願い致します。

■自由学園中等部・高等部
オープンキャンパス

日時:8月25日(日)9:30～12:35
会場:中等部・高等部エリア
様々な体験授業のコースから、お好きなものを選んでご参加いただけます。(先着順)

■自由学園初等部
入試説明会(授業見学)

日時:9月14日(土)9:30～11:30
会場:記念講堂、初等部エリア。
入試についてご説明します。会の後半は授業見学も出来ます。

■自由学園幼稚生活団幼稚園
夕涼み会

日時:8月23日(金)16:30～17:45
会場:幼稚園庭
夏の終わりに、みんなで楽しみませんか。手作りのお店もいっぱい用意しています!

※16:30～17:15～の2部制となっています。

■自由学園幼稚生活団幼稚園
入園説明会

日時:9月7日(土)10:00～11:00、10月5日(土)10:00～11:00

詳細決まり次第更新します。幼稚園HPをご確認ください。

■自由学園幼稚生活団幼稚園
幼稚園体験会
日時:9月18日(土)時間未定
詳細決まり次第更新します。
幼稚園HPをご確認ください。

■U12こども広場
日時:8月25日(土)9:00～12:00
会場:初等部食堂、小ホールetc

自由学園のキャンパスを使って、ご家族でのんびりお過ごしください。パン販売や竹を使ったワークシヨップなども企画しております。

